

フランス文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
フランス文学概論Ⅰ	フランス文学史(古典主義の成立前後まで)	2	黒岩 卓	3	月	4	1
フランス文学概論Ⅱ	フランス文学史(近現代)	2	今井 勉	4	水	4	2
フランス語学概論Ⅰ	言語学の誕生から今日まで	2	阿部 宏	4	月	5	3
フランス文学基礎講読Ⅰ	短編小説を読む	2	今井 勉	3	水	4	4
フランス文学基礎講読Ⅱ	フランス語文法と仏文解釈	2	黒岩 卓	4	月	4	5
フランス語学基礎講読	フランスの雑誌を読む	2	阿部 宏	3	月	5	6
フランス文学各論Ⅰ	フランス文学批評史(1)	2	今井 勉	5	木	2	7
フランス文学各論Ⅱ	フランス文学批評史(2)	2	今井 勉	6	木	2	8
フランス文学各論Ⅲ	喪のフランス詩を読む	2	熊谷 謙介	集中(5)			9
フランス文学演習Ⅰ	Lire, comprendre, interpréter	2	MEVEL YANN ERIC	5	木	4	10
フランス文学演習Ⅱ	Lire, comprendre, interpréter	2	MEVEL YANN ERIC	6	木	4	11
フランス文学演習Ⅲ	フランス語の諸相と歴史(1)	2	黒岩 卓	5	火	5	12
フランス文学演習Ⅳ	フランス語の諸相と歴史(2)	2	黒岩 卓	6	火	5	13
フランス語学演習Ⅰ	フランス語意味論Ⅰ	2	阿部 宏	5	火	3	14
フランス語学演習Ⅱ	フランス語意味論Ⅱ	2	阿部 宏	6	火	3	15

科目名：フランス文学概論 I / French Literature (General Lecture) I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LB31401, **科目ナンバリング：**LHM-LIT208J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス文学史(古典主義の成立前後まで)

2. Course Title (授業題目)：

History of French Literature (before the end of the 17th Century)

3. 授業の目的と概要：

中世から 17 世紀にいたるまでのフランス語による文学作品を、フランス語史の観点を含めつつ概観します。いわゆるフランス語の誕生から、16 世紀になって本格化した古典古代のテキストの研究の復興や宗教改革を経て、近代フランス語の基礎が確立されるまでのありさまを、時代ごとの代表的作品を例にとりながら解説していきます。時代ごとのフランス語で書かれた諸作品を扱いますが、原則として日本語訳を用います。

4. 学習の到達目標：

十七世紀までのフランス文学史の概要を知る。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 フランス語の誕生

第二回 中世フランス文明概観、聖人伝と武勲詩

第三回 物語の誕生

第四回 中世・ルネサンスの抒情詩

第五回 フランス・ルネサンス文明概観

第六回 ラブレール

第七回 カルヴァン

第八回 モンテーニュ

第九回 フランス十七世紀文明概観、近代フランス語の成立

第十回 コルネイユ

第十一回 デカルト、パスカル

第十二回 ラシーヌ

第十三回 モリエール

第十四回 まとめ（1）

第十五回 まとめ（2）

6. 成績評価方法：

筆記試験 100%

7. 教科書および参考書：

プリントを配布します。

8. 授業時間外学習：

興味のある作品を実際に読むことが重要です。

9. その他：なし

科目名：フランス文学概論Ⅱ／ French Literature (General Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LB43405, 科目ナンバリング：LHM-LIT209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

フランス文学史（近現代）

2. Course Title（授業題目）：

History of french modern literature

3. 授業の目的と概要：

人間論の基本的な教養として、フランス文学史の知識は有効です。この授業では、19 世紀末から 20 世紀半ば頃までのフランス文学史上重要な作品を、毎回一篇程度取り上げて、テキスト読解を試みます。具体的には、ブルースト、ヴァレリー、ブルトン、セリヌ、カミュ、サン＝テグジュペリなどの作品について、当時の歴史的・文化的な背景を絡めながら、代表的なテキストを取り上げて、解説を加えていきます。

4. 学習の到達目標：

フランス文学史を通覧しながら、フランス文学の傑作に触れる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業で扱う作家・作品および進度は変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第 1 回 フランス文学史の方法に関する概説

第 2 回 ブルースト『失われた時を求めて』（1）

第 3 回 ブルースト『失われた時を求めて』（2）

第 4 回 ヴァレリー『レオナルド・ダ・ヴィンチ方法序説』（1）

第 5 回 ヴァレリー『レオナルド・ダ・ヴィンチ方法序説』（2）

第 6 回 ブルトン『シュルレアリスム宣言』『ナジャ』（1）

第 7 回 ブルトン『シュルレアリスム宣言』『ナジャ』（2）

第 8 回 セリヌ『夜の果てへの旅』（1）

第 9 回 セリヌ『夜の果てへの旅』（2）

第 10 回 カミュ『異邦人』『転落』（1）

第 12 回 カミュ『異邦人』『転落』（2）

第 13 回 サン＝テグジュペリ『星の王子様』『人間の大地』（1）

第 14 回 サン＝テグジュペリ『星の王子様』『人間の大地』（2）

第 15 回 まとめと筆記試験

6. 成績評価方法：

出席 20%＋筆記試験 80%

7. 教科書および参考書：

プリントを配付します。参考書としては『はじめて学ぶフランス文学史』（ミネルヴァ書房、2002 年）を挙げておきます。

8. 授業時間外学習：

毎回、次回の授業で扱うプリントを配付しますので、あらかじめよく読んで、授業に臨んでください。

9. その他：なし連絡先： tsutomu@m. tohoku. ac. jp

科目名：フランス語学概論 I / French Linguistics (General Lecture) I

曜日・講時：後期 月曜日 5 講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：阿部 宏（教授）

講義コード：LB41503, **科目ナンバリング：**LHM-LIT210J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

言語学の誕生から今日まで

2. Course Title (授業題目)：

De la naissance de la linguistique jusqu'à aujourd'hui

3. 授業の目的と概要：

- ・言語研究の歴史についてフランス語のテキストにもとづいて解説する.
- ・言語研究の最近の成果を概説する.
- ・フランス語の論文の読解に慣れる.

4. 学習の到達目標：

- ・フランス語学の基礎知識が身につく.
- ・フランス語の論説文が読めるようになる.
- ・フランス語の中級文法をマスターできる.

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 比較文法（1）
3. 比較文法（2）
4. ソシュール（1）
5. ソシュール（2）
6. 音韻論（1）
7. 構造主義（2）
8. アメリカ構造主義
9. 生成変形文法
10. 認知意味論
11. 文法化（1）
12. 文法化（2）
13. 主観性（1）
14. 主観性（2）
15. まとめと筆記試験

6. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%

7. 教科書および参考書：

プリント使用.

参考書：阿部宏（2015）『言葉に心の声を聞く』東北大学出版会.

他にも、関連図書を適宜推薦します.

8. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

9. その他：なし

科目名：フランス文学基礎講読Ⅰ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅰ

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：今井 勉（教授）

講義コード：LB33405, 科目ナンバリング：LHM-LIT223J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

短編小説を読む

2. Course Title (授業題目)：

Reading of french short stories

3. 授業の目的と概要：

基礎文法を確認しながら、フランス文学の原典に親しみます。この授業では、19 世紀末に活躍した作家マルセル・シュオブ（1867-1905）の作品を読みます。

4. 学習の到達目標：

フランス文学の原典を読む基礎的な作法を身につける。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業で扱う予定の作品・進度は変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 導入（マルセル・シュオブについて）

第2回 『黄金仮面の王』より「オジグの死」の読解（1）

第3回 『黄金仮面の王』より「オジグの死」の読解（2）

第4回 『黄金仮面の王』より「オジグの死」の読解（3）

第5回 『黄金仮面の王』より「ミイラ造りの女」の読解（1）

第6回 『黄金仮面の王』より「ミイラ造りの女」の読解（2）

第7回 『黄金仮面の王』より「ミイラ造りの女」の読解（3）

第8回 『黄金仮面の王』より「ペスト」の読解（1）

第9回 『黄金仮面の王』より「ペスト」の読解（2）

第10回 『黄金仮面の王』より「ペスト」の読解（3）

第11回 『黄金仮面の王』より「贗顔団」の読解（1）

第12回 『黄金仮面の王』より「贗顔団」の読解（2）

第13回 『黄金仮面の王』より「贗顔団」の読解（3）

第14回 『黄金仮面の王』より「宦官」の読解（1）

第15回 『黄金仮面の王』より「宦官」の読解（2）および筆記試験

6. 成績評価方法：

毎回の予習に基づく授業参加状況 50%＋筆記試験 50%

7. 教科書および参考書：

コピーを配付します

8. 授業時間外学習：

毎回予習をして授業に臨むこと

9. その他：なし連絡先： tsutomu@m. tohoku. ac. jp

科目名：フランス文学基礎講読Ⅱ／ French Literature (Introductory Reading)Ⅱ

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LB41401, 科目ナンバリング：LHM-LIT224J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

フランス語文法と仏文解釈

2. Course Title (授業題目)：

French Grammar

3. 授業の目的と概要：

主要な参考書として『改訂版フランス語ハンドブック』を用いて初級文法の復習と中級文法への導入を行いながら、さまざまな種類のフランス語のテキストを読みます。講読テキストは参加者と相談の上で決定します。

4. 学習の到達目標：

近現代までのフランス語の読解に必要な文法的知識を深め、近・現代フランス語のテキストに親しむ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

以下の予定で『改訂版フランス語ハンドブック』（以下教科書の項を参照）を読み、平行してさまざまなテキストの講読を行います。

第一回	I	文の要素	1	概観 (pp. 3-5)
第二回	I	文の要素	2	名詞グループ (pp. 6-23)
第三回	I	文の要素	3	動詞グループ (pp. 23-47)
第四回	I	文の要素	4	形容詞グループ (pp. 47-64)
第五回	I	文の要素	5	前置詞グループ (pp. 65-70)
第六回	II	文の変形・展開	1	概観 (pp. 71-73)
第七回	II	文の変形・展開	2	代名詞 (pp. 74-93)
第八回	II	文の変形・展開	3	複文 (pp. 93-111)
第九回	II	文の変形・展開	3	複文続き 及び 4 複文に準ずるもの (pp. 111-128)
第十回	III	文の種類	1	概観 (pp. 129-130) および 2 文のタイプ (pp. 131-138)
第十一回	III	文の種類	3	文の様態 (pp. 139-150)
第十二回	III	文の種類	4	特殊な文 (pp. 150-160)
第十三回		まとめと文学テキスト講読	(1)	
第十四回		まとめと文学テキスト講読	(2)	
第十五回		まとめと文学テキスト講読	(3)	

6. 成績評価方法：

出席（100%：毎回小テストを実施します）。

7. 教科書および参考書：

新倉俊一他『改訂版フランス語ハンドブック』、白水社、1996. その他は初回の授業で指示します。

8. 授業時間外学習：

初回を除いて原則として毎回小テストを実施しますので、十分な予習・復習が必要になります。

9. その他：なし

科目名：フランス語学基礎講読／ French Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 月曜日 5講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB31505, **科目ナンバリング：**LHM-LIT225J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランスの雑誌を読む

2. Course Title (授業題目)：

Lire des magazines français

3. 授業の目的と概要：

フランス語で書かれた平易な雑誌記事やガイドブックを題材に、初級文法・基礎的語彙の復習、中級文法の学習、文章読解の練習を行います。また、発音のわかりづらい点（発音記号の理解、語末音の発音の有無、複母音字、鼻母音、リエゾンなど）、文法のわかりづらい点（部分冠詞、名詞の性、中性代名詞、複合過去と半過去との違い、単純過去、条件法、接続法など）、フランスと英語や日本語との違い、フランス語の語源とフランス語史などについて解説します。仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても紹介します。

4. 学習の到達目標：

- ・フランス語の雑誌やガイドブックが読めるようになる。
- ・フランス語の中級文法がわかるようになる。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典の使い方をマスターする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 辞典、文法事典、参考書の紹介
3. 雑誌記事・日本紹介（1）
4. 雑誌記事・日本紹介（2）
5. 雑誌記事・日本紹介（3）
6. 雑誌記事・時事問題（1）
7. 雑誌記事・時事問題（2）
8. 雑誌記事・時事問題（3）
9. ガイドブック・大学案内（1）
10. ガイドブック・大学案内（2）
11. ガイドブック・大学案内（3）
12. ガイドブック・旅行案内（1）
13. ガイドブック・旅行案内（2）
14. ガイドブック・旅行案内（3）
15. まとめと筆記試験

6. 成績評価方法：

平常点 50%. 筆記試験 50%

7. 教科書および参考書：

プリント使用。参考書については、教室で現物をお見せして、適宜推薦します。

8. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

9. その他：なし

科目名：フランス文学各論 I / French Literature (Special Lecture) I

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5, **単位数：**2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB54202, **科目ナンバリング：**LHM-LIT312J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス文学批評史 (1)

2. Course Title (授業題目)：

History of french criticism (1)

3. 授業の目的と概要：

19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評史は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワヌ・コンパニョンの『文学の第三共和政』(1983)を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀前半のフランス第三共和政期の文学批評の流れをたどってみます。

4. 学習の到達目標：

フランス第三共和政期の文学批評の勢力図の変遷を知り、文学と歴史の関わりについて考察を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

(以下、授業で扱う節・進度は変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

1. 導入。コンパニョン『文学の第三共和政』についての概説。
2. 同書第 2 部「文学とは何か」の序章および第 1 章第 7 節までのまとめ
3. 同第 1 章 (8) 子供・王子・作家
4. 同第 1 章 (9) 『失われた時を求めて』を読む
5. 同第 2 章フローベール論 (1)
6. 同第 2 章フローベール論 (2)
7. 同第 2 章フローベール論 (3)
8. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (1)
9. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (2)
10. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (3)
11. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (4)
12. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (5)
13. 同第 3 章フローベールおよびテヌ論 (6)
14. まとめの考察 (1)
15. まとめの考察 (2)

6. 成績評価方法：

授業への参加状況 100%

7. 教科書および参考書：

プリントを配付します。主要参考文献は以下の通り。アントワヌ・コンパニョン『文学の第三共和国』(1983) [邦訳なし]、『理論の魔』(1998) [邦訳『文学をめぐる理論と常識』(2007)]、ミシェル・ジャルティ『フランスにおける文学批評 歴史と方法 (1800-2000)』(2016) [邦訳なし]。

8. 授業時間外学習：

毎回、引用文の訳を担当していただく場合がありますので、ご準備ください。

9. その他：なし連絡先：tsutomu@m.tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学各論Ⅱ／ French Literature (Special Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6, **単位数：**2

担当教員：今井 勉 (教授)

講義コード：LB64206, **科目ナンバリング：**LHM-LIT313J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス文学批評史 (2)

2. Course Title (授業題目)：

History of french criticism (2)

3. 授業の目的と概要：

19 世紀以降のフランスの文学批評の歴史を振り返ります。文学批評史は時代の政治・経済・文化の動きと密接な関係を保っています。この授業では、アントワヌ・コンパニョンの『文学の第三共和国』(1983)を主要参考文献として、19 世紀後半から 20 世紀前半のフランス第三共和政期の文学批評の流れをたどってみます。

4. 学習の到達目標：

フランス第三共和政期の文学批評の勢力図の変遷を知り、文学と歴史の関わりについて考察を深める。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

(2017 年度前期の講義内容を反省的に発展・再編成した講義を行います。)

第 1 回 導入

第 2 回 ギュスターヴ・ランソン (1) 文学か歴史か

第 3 回 ギュスターヴ・ランソン (2) 大学と歴史家

第 4 回 ギュスターヴ・ランソン (3) 文学史

第 5 回 ギュスターヴ・ランソン (4) 講壇批評

第 6 回 ギュスターヴ・ランソン (5) ドレフュス事件

第 7 回 ギュスターヴ・ランソン (6) 修辞学教育

第 8 回 ギュスターヴ・ランソン (7) 大作家

第 9 回 ギュスターヴ・ランソン (8) アクション・フランセーズ vs ソルボンヌ

第 10 回 ギュスターヴ・ランソン (9) シャルル・ペギー

第 11 回 ギュスターヴ・ランソン (10) ランソン主義

第 12 回 ギュスターヴ・ランソン (11) 人格礼賛

第 13 回 ギュスターヴ・ランソン (12) サント＝ブーヴ、テーヌ、ブリュヌチエール

第 14 回 ギュスターヴ・ランソン (13) テーヌの独裁

第 15 回 まとめ

6. 成績評価方法：

授業への参加状況 100%

7. 教科書および参考書：

アントワヌ・コンパニョン『文学の第三共和国』(1983)〔邦訳なし〕、『理論の魔』(1998)〔邦訳『文学をめぐる理論と常識』(2007)〕、ミシェル・ジャルティ『フランスにおける文学批評 歴史と方法 (1800-2000)』(2016)〔邦訳なし〕

8. 授業時間外学習：

配付資料の予習をして授業に臨むこと。

9. その他：なし連絡先：tsutomu@m.tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学各論Ⅲ／ French Literature (Special Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中(5), 単位数：2

担当教員：熊谷 謙介 (非常勤講師)

講義コード：LB98813, **科目ナンバリング：**LHM-LIT314J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

喪のフランス詩を読む

2. Course Title (授業題目)：

Reading of french poems

3. 授業の目的と概要：

大切な人を失ったとき、詩人たちはどのように喪の時間を過ごすのか？ そして、もし失われたものが言葉によって蘇るのであれば、喪こそ文学の始まりと考えられるのではないか？ この授業ではとりわけ亡き妻を連れ戻しに地獄降りをしたオルフェウスの神話に焦点を当てて、現代の詩人にまで反復されるオルフェウス体験に迫りたい。また喪の問題を出発点にして、フランス近現代詩のエッセンスに触れる機会としたい。

4. 学習の到達目標：

- フランスを中心とした、喪をテーマとする文学・詩・視覚芸術の特徴を理解する。
- 近代詩の特質が理解できる。
- 実際にテキストを読解し、分析の技法を身につけることで、学生自身の研究に生かすことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 第1回 授業の進め方の紹介。イントロダクション——喪の詩とは？
- 第2回 『喪の日記』——ロラン・バルト
- 第3回 喪の空間としての部屋——バルト、トリュフォー、モレッティ
- 第4回 忘却の河——ミシェル・ドゥギー『尽き果てることなきものへー喪をめぐる省察』
- 第5回 追悼文という「文学」
- 第6回 愛する死者を見ることはできるか？——オルフェウスの神話
- 第7回 オルフェウスの「失敗」？——バルト、ブランショ
- 第8回 不在を歌う詩——マラルメ(1)
- 第9回 言葉による「墓」——マラルメ(2)
- 第10回 「私には千年の歳をとったよりもたくさんの思い出がある」——ボードレール(1)
- 第11回 恋人たちの死——ボードレール(2)
- 第12回 ボヘミアンの生と死——ネルヴァル(1)
- 第13回 夢うつつの境へ——ネルヴァル(2)
- 第14回 カタストロフと「挽歌」
- 第15回 まとめ、ディスカッション

6. 成績評価方法：

- 授業への参加度 50% (発言やコメントペーパーなどで積極的に参加しているかどうかで評価する)
- レポート 50% (授業で教えた分析方法を使って、自分で選んだ作品についてレポートを提出し、それを評価する)

7. 教科書および参考書：

必要なテキストは授業初回に配布しますので、受講を希望する方は必ず初回の授業に出席してください。参考書に関しては以下のとおり。

- ・野村喜和夫『オルフェウスの主題』水声社、2008年。
- ・竹内整一『「かなしみ」の哲学』NHKブックス、2009年。
- ・宮地尚子『トラウマ』岩波新書、2013年。

8. 授業時間外学習：

授業で扱う文学作品を前日までに読んで予習してくる。ポイントについてはこちらで指示する。

9. その他：なしこの授業ではフランス詩を中心に扱いますが、その他の地域の作品や映像作品にも触れます。また、文学・芸術を論ずる上で基礎となる、文化や社会の問題にもアプローチします。

科目名：フランス文学演習 I / French Literature (Seminar) I

曜日・講時：前期 木曜日 4 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC (准教授)

講義コード：LB54404, 科目ナンバリング：LHM-LIT331J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

Lire, comprendre, interpréter

2. Course Title (授業題目)：

Lire, comprendre, interpréter

3. 授業の目的と概要：

Parmi les activités :

- pratique de la lecture orale
- analyses méthodiques de textes littéraires
- exercices d'expression orale et écrite

4. 学習の到達目標：

Les buts du cours sont les suivants :

- initier à l'analyse des textes littéraires
- développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
- développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. Introduction
2. Lecture méthodique
3. Lecture méthodique
4. Lecture méthodique
5. Lecture méthodique
6. Lecture méthodique
7. Lecture méthodique
8. Lecture méthodique
9. Lecture méthodique
10. Lecture méthodique
11. Lecture méthodique
12. Lecture méthodique
13. Lecture méthodique
14. Lecture méthodique
15. Lecture méthodique
16. Projection d'un film en rapport avec la littérature. Analyse et discussion.

6. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, à l'oral (participation aux cours) et à l'écrit (rédaction de textes brefs). Il comptera pour 60 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire

7. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.

8. 授業時間外学習：

Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

9. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅱ／ French Literature (Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 木曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC (准教授)

講義コード：LB64402, 科目ナンバリング：LHM-LIT332J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

Lire, comprendre, interpréter

2. Course Title (授業題目)：

Lire, comprendre, interpréter

3. 授業の目的と概要：

Parmi les activités :

- pratique de la lecture orale
- analyses méthodiques de textes littéraires
- exercices d'expression orale et écrite

4. 学習の到達目標：

Les buts du cours sont les suivants :

- initier à l'analyse des textes littéraires
- développer les compétences de lecture et de compréhension à l'oral
- développer les capacités d'expression à l'oral et à l'écrit

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. Introduction
2. Lecture méthodique
3. Lecture méthodique
4. Lecture méthodique
5. Lecture méthodique
6. Lecture méthodique
7. Lecture méthodique
8. Lecture méthodique
9. Lecture méthodique
10. Lecture méthodique
11. Lecture méthodique
12. Lecture méthodique
13. Lecture méthodique
14. Lecture méthodique
15. Lecture méthodique
16. Projection d'un film en rapport avec la littérature. Analyse et discussion.

6. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, à l'oral (participation aux cours) et à l'écrit (rédaction de textes brefs). Il comptera pour 60 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, l'évaluation prendra la forme d'un questionnaire

7. 教科書および参考書：

Les textes seront fournis aux étudiants.

8. 授業時間外学習：

Il faudra faire des lectures préparatoires et rédiger des textes brefs en relation avec l'objet du cours.

9. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅲ／ French Literature (Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 5講時

セメスター：5, **単位数：**2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LB52505, **科目ナンバリング：**LHM-LIT333F, **使用言語：**英語以外の外国語

1. 授業題目：

フランス語の諸相と歴史（1）

2. Course Title（授業題目）：

The history of French language and the francophonie (1)

3. 授業の目的と概要：

フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。

前期にはラテン語から中世、近代にわたる各時代のフランス語テキストに実際に触れることで、具体的に各時代の言語の諸相を学びます。

後期においては近現代世界におけるフランス語の位置づけについて学びます。十九世紀から現代までの世界の各地域のさまざまな種類の文書を読みます。また今世紀の世界におけるフランス語の位置づけを考えるため、アフリカ大陸におけるフランス語の諸相について重点的に着目したいと考えています。

前期・後期別々に

4. 学習の到達目標：

フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また様々な時代と地域のフランス語テキストに触れることで、読解力と表現力を養う。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下は予定で、変更がありえます。）

第一回 ラテン語（1）

第二回 ラテン語（2）

第三回 フランス語の誕生

第四回 古フランス語（1）

第五回 古フランス語（2）

第六回 古フランス語（3）

第七回 古オック語

第八回 中期フランス語（1）

第九回 中期フランス語（2）

第十回 中期フランス語（3）

第十一回 古典フランス語（1）

第十二回 古典フランス語（2）

第十三回 古典フランス語（3）

第十四回 まとめ（1）

第十五回 まとめ（2）

6. 成績評価方法：

出席 100%

7. 教科書および参考書：

プリントを配布する予定ですが、授業開始時に指定することもありえます。

8. 授業時間外学習：

配布されたテキストの予習が必要になります。

9. その他：なし

科目名：フランス文学演習Ⅳ／ French Literature (Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：6, **単位数：**2

担当教員：黒岩 卓（准教授）

講義コード：LB62503, **科目ナンバリング：**LHM-LIT334F, **使用言語：**英語以外の外国語

1. 授業題目：

フランス語の諸相と歴史（2）

2. Course Title（授業題目）：

The history of French language and the francophonie (2)

3. 授業の目的と概要：

フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。

前期にはラテン語から中世、近代にわたる各時代のフランス語テキストに実際に触れることで、具体的に各時代の言語の諸相を学びます。

後期においては近現代世界におけるフランス語の位置づけについて学びます。十九世紀から現代までの世界の各地域のさまざまな種類の文書を読みます。また今世紀の世界におけるフランス語の位置づけを考えるため、とくにアフリカ大陸におけるフランス語の諸相について重点的に着目したいと考えています。

前期・後期

4. 学習の到達目標：

フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また様々な時代と地域のフランス語テキストに触れることで、読解力と表現力を養う。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下は予定で変更がありえます。）

- 第一回 フランス革命とフランス語
- 第二回 十九世紀から二十世紀（1）
- 第三回 十九世紀から二十世紀（2）
- 第四回 十九世紀から二十世紀（3）
- 第五回 フランコフォニー
- 第六回 ヨーロッパ
- 第七回 北米
- 第八回 中米
- 第十回 アフリカ（1）
- 第十一回 アフリカ（2）
- 第十二回 アフリカ（3）
- 第十三回 アフリカ（4）
- 第十四回 まとめ（1）
- 第十五回 まとめ（2）

6. 成績評価方法：

出席 100%

7. 教科書および参考書：

プリントを配布する予定ですが、授業開始時に指定することもあります。

8. 授業時間外学習：

配布されたテキストの予習が必要になります。

9. その他：なし

科目名：フランス語学演習 I / French Linguistics (Seminar) I

曜日・講時：前期 火曜日 3 講時

セメスター：5, **単位数：**2

担当教員：阿部 宏 (教授)

講義コード：LB52307, **科目ナンバリング：**LHM-LIT335J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス語意味論 I

2. Course Title (授業題目)：

Sémantique française I

3. 授業の目的と概要：

- ・19 世紀のフランス文学作品のテキストを題材に、フランス語の言語的現象を分析し、同時に文化論・文学論・歴史学的な考察を行います。
- ・フランス語の諸現象について、文法化、認知意味論、主観性などの観点から解説します。
- ・実例に基づいた言語研究、およびフランス語・英語・日本語間の対照研究の方法論について考察します。
- ・仏々辞典、仏英辞典、文法事典、類義語辞典などの有効な活用法についても、具体的に説明します。

4. 学習の到達目標：

- ・フランス語の読解力が高まる。
- ・フランス語の語彙と文法の仕組みがわかるようになる。
- ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 仏々辞典等の使用法
3. 文法事典等の使用法
4. 意味論概説 (1)
5. 意味論概説 (2)
6. 意味論概説 (3)
7. テキスト読解 (1)
8. テキスト読解 (2)
9. テキスト読解 (3)
10. テキスト読解 (4)
11. テキスト読解 (5)
12. テキスト読解 (6)
13. テキスト読解 (7)
14. テキスト読解 (8)
15. まとめと筆記試験

6. 成績評価方法：

平常点 50%, 筆記試験 50%

7. 教科書および参考書：

参考書：阿部宏 (2015) 『言葉に心の声を聞く』 東北大学出版会。

8. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます

9. その他：なし

科目名：フランス語学演習Ⅱ／ French Linguistics (Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 3講時

セメスター：6, **単位数：**2

担当教員：阿部 宏（教授）

講義コード：LB62305, **科目ナンバリング：**LHM-LIT336J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

フランス語意味論Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

Sémantique françaiseⅡ

3. 授業の目的と概要：

- ・フランス語の語彙，文法，歴史を扱った論文を読みながら，文法構造，歴史，語彙など，フランス語の特徴について総合的に解説し，考察します．また，適宜，英語，日本語などとの対照的考察を行います．
- ・語学研究の方法論を解説するとともに，フランス語と日本語の類似点と相違点について考察します．
- ・LEXIS などの仏々辞典，『朝倉・新フランス文法事典』，Le Bon Usage, Dupre などの文法事典，Robert-Collins などの仏英辞典，Benac などの類義語辞典，Le Robert histo

4. 学習の到達目標：

- ・フランス語の読解力が高まる．
- ・フランス語，英語，日本語などの言葉の違いを超えた共通性に気づく．
- ・語学研究の自分なりのテーマを見つけられる．

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 意味論関連文献読解（1）
3. 意味論関連文献読解（2）
4. 意味論関連文献読解（3）
5. 意味論関連文献読解（4）
6. 意味論関連文献読解（5）
7. 主観性関連文献読解（1）
8. 主観性関連文献読解（2）
9. 主観性関連文献読解（3）
10. 主観性関連文献読解（4）
11. 語用論関連文献読解（1）
12. 語用論関連文献読解（2）
13. 語用論関連文献読解（3）
14. 語用論関連文献読解（4）
15. まとめと筆記試験

6. 成績評価方法：

筆記試験 50% + 出席 50%

7. 教科書および参考書：

プリント使用．

参考書：阿部宏（2015）『言葉に心の声を聞く』東北大学出版会．

8. 授業時間外学習：

教室で適宜テーマを与えますので，関連資料を調査し，各自考えていただきます

9. その他：なし